

# 自分を見つめ、自分の夢に向かって努力することができる児童の育成

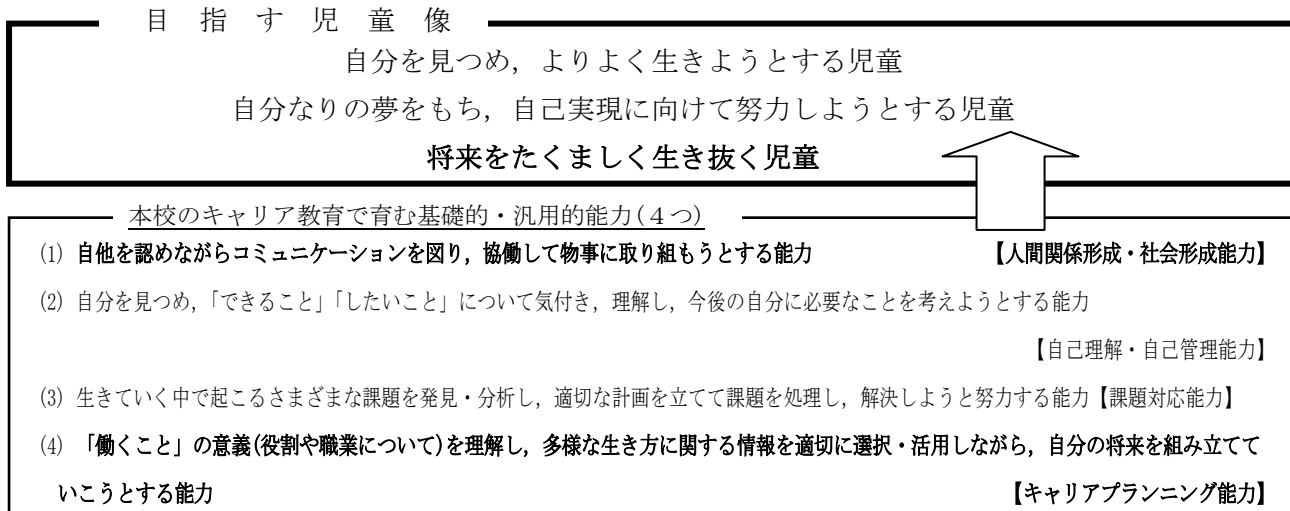
## ー将来をたくましく生き抜くためのキャリア教育の授業実践ー

蟹江町立須西小学校 教諭 岡本由紀子

### 1 はじめに

本校は、平成 22 年度よりキャリア教育を取り入れた教育実践を行ってきた。平成 22 年度は「発足・実践」をキーワードに、学級活動や委員会による活動、児童会行事などを通して、人と関わることの大切さやコミュニケーション能力を育ててきた。平成 23 年度は「拡大・活用」をキーワードに、基調提案 p.3【資料 4】を基に、現在行っている教育活動をキャリア教育の視点で見直し、キャリアプログラムやキャリアカレンダーを作成、実践してきた。それにより、教職員はキャリア教育を行う上で特別に何かを始める必要はなく、今ある教育活動をキャリア教育の視点で見直して実践できるということに気付くことができた。また、県から委嘱を受けた「夢をはぐくむ あいち・モノづくり体験」事業では、地域の方と連携し、相撲見学や飴づくり、くすの木広場の花壇づくり体験を行えた。さまざまな体験を通して、児童は働く人に興味をもち、その大切さや大変さに気付くことができた。そして、将来の夢をもち、自信をもって語るできるようになりつつあった。しかし、現実の社会は夢だけ追っていけないものではない。これから生きる児童にとってさまざまな困難や苦勞、思うようにならない場面、夢を変えなければならないときが来ることは容易に予想される。そのときに、児童が自分なりの考えを行動できることが大切である。そのためには、将来、児童が困難な場面にあっても、他の方法・視点を見付けようとする姿勢をもち続けることができればよいと考える。つまり、教職員は、多様な視点を持ち、自分なりに考えて決めることのできる児童を育てていく必要がある。

そこで、平成 24 年度は「精選・発信・継続 (P→D→C→A)」をキーワードに、希望することと自分の能力、適性との違いに気付く場面や思うようにならない場面にあったとき、それでもその先の人生をたくましく生き抜くための基礎・基盤となる能力を養っていきたいと考えた。



～『生きる力と夢を育む キャリアプログラム』より～

本校は、全学年を対象に全ての教育活動をキャリア教育の視点で捉え実践を行っているが、報告書では、特に高学年における総合的な学習の時間に焦点を当て、発達の段階を考慮したキャリア教育の在り方を探っていく。

本校におけるキャリア教育は、「よりよく生きる力と夢を育み続ける教育」だと考えている。児童が将来に向けて、自分を知り、他者を理解し、さまざまな事柄に対して前向きに取り組もうと考えられるような教育実践を進めていきたい。

## 2 学校の実態

本校は田畑や川に囲まれた比較的自然の多い場所に位置している。昔からこの地に住んでいる人が多く、祖父母と同居している、または祖父母が近所に住んでいるという児童が多い。地域行事も盛んで、今年「須成祭」が国の重要無形民俗文化財に指定された。このような地域で育った本校の児童は、伸び伸びとして子どもらしく素直である。しかし、中には自分勝手な言動で周囲に迷惑を掛けてしまう児童や互いのささいな勘違いからトラブルに発展してしまう児童もおり、他者とコミュニケーションを上手にとれないと感じる（「人間関係形成・社会形成能力(コミュニケーション)(チームワーク)」の不足)ことがある。また、将来の夢や目標をもっている、それが今の生活と密に関わっていることまでは理解できていない児童（「キャリアプランニング能力(将来設計)」の不足)がほとんどである。本研究を通して、児童の人間関係形成・社会形成能力やキャリアプランニング能力が少しでも高まるとよいと考える。

## 3 研究の仮説

以下の仮説を立て、検証を行う。

- (1) 他者との関わり合いの仕方や互いの行動・取組について考え、振り返る方法を工夫したり、地域を中心とした連携活動の充実を図ったりすることにより、自分の考えを深めさせ、児童の「人間関係形成・社会形成能力」を高めることができるであろう。
- (2) 現実社会を見つめ、多様な視点をもつことや人の役に立つことの必要性を実感できる授業・活動に意図的に取り組ませることにより、児童が、日常生活における多様な役割や働くことの意義、自分なりに考えて決めることの大切さを発達の段階に応じて理解し、将来をたくましく生き抜くために必要なことについての認識「キャリアプランニング能力」を高めることができるであろう。

## 4 実践の方法

研究の仮説を検証するため、以下の方法で実践を行うことにした。

### (1) 関わり合いの仕方に関する工夫の手だて

ア 授業における児童同士の関わり合いの仕方を工夫する。

(ア) 小グループによる関わり合いの場を設定する。…**手だてA**

(イ) 活動が意欲的に行えるよう、教材・教具を工夫する。…**手だてB**

イ 人に伝える際の支援の仕方を工夫する。

(ア) 発表する順番を事前に決めておいたり、話型を示したりする。…**手だてC**

(イ) 話し合いを進めるためのシート（進行表）を用意する。…**手だてD**

ウ 話を聞く際の支援の仕方を工夫する。

(ア) プリントに余白を設けておき、話し合いの中で分かったことや感じたこと、気付いたことな



で話すことができるとともに、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えを深めることができる。

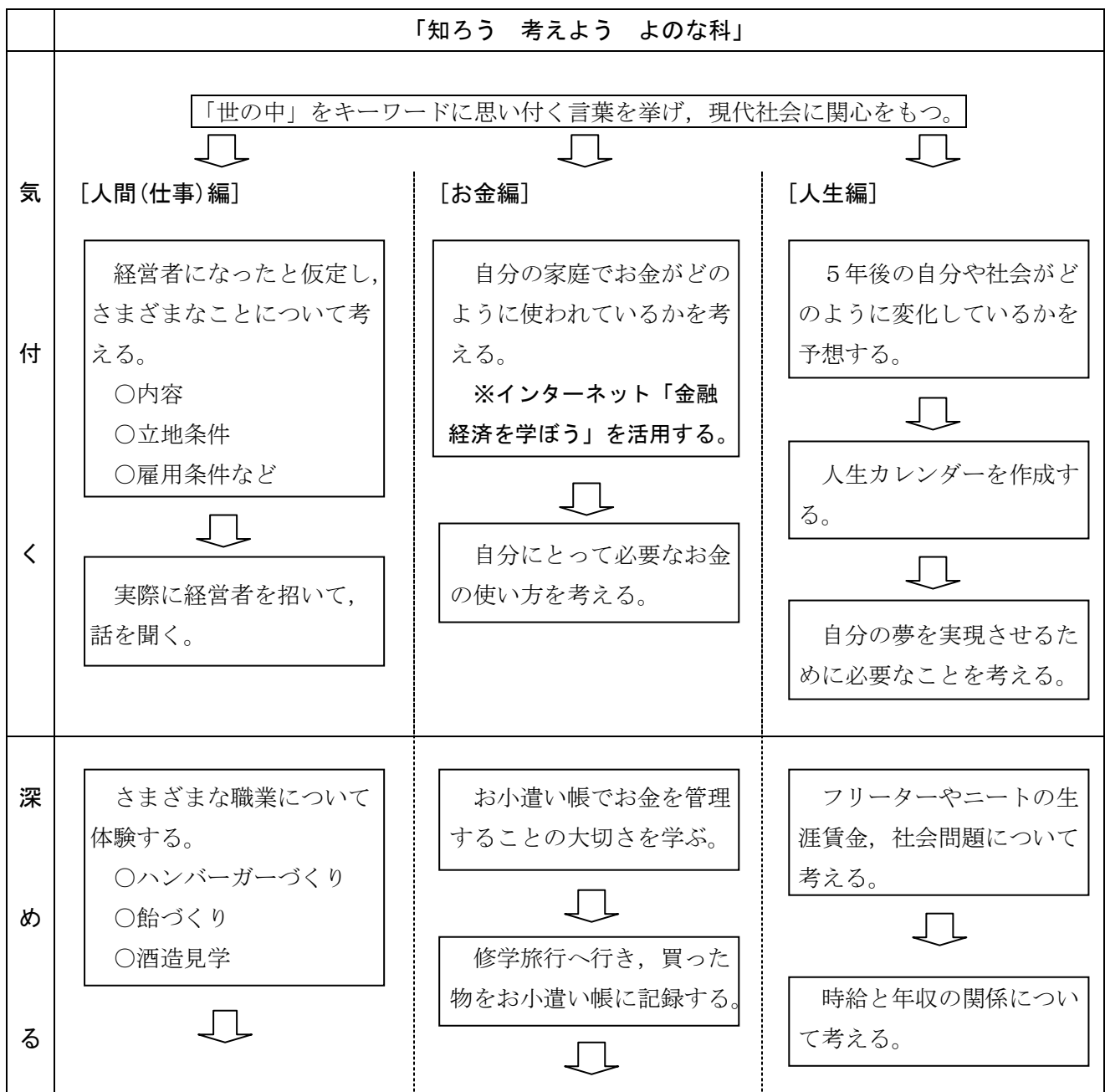
エ 「働くこと」の意義(大切さや苦勞)や役割の関連性や変化に気づき、それぞれにやりがいがあることを理解することができる。

オ さまざまな体験をもとに、自分の個性や適性について考え、憧れる職業や目標に向けて、今しなければならないことを前向きに捉え、将来を組み立てていこうとすることができる。

#### (4) 指導の重点

児童の身近な話題から現実社会に目を向けさせ、興味をもって学習に参加できるようにするとともに、自分の考えをもち、他者に発信できるよう指導を進めていく。また、相手の意見を受け入れ、視野を広げられるようにし、将来の自分へとつなげていけるようにしたい。

#### (5) 単元構想



<p>深 め る</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>仕事について考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業への誇り</li> <li>・続けていくことの難しさ, 大変さ</li> <li>・新しいことに挑戦することの喜び</li> </ul> </div>	<p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お小遣い帳を振り返り, 正しいお金の使い方について考える。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>税金について考える。 (租税教室)</p> </div>	<p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お金と人生と自分の関係について考える。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>これからの大切な人生をどう生きるかを考える。</p> </div>
<p>ま と め る ・ 振 り 返 る</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>児童会行事「須西っ子夏祭り」の出店を企画・運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○内容</li> <li>○立地条件</li> <li>○役割分担</li> <li>○接客態度など</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>出店の準備をする。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>リハーサルを行い, 再度確認をする。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「須西っ子夏祭り」本番</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>仕事(人間)編を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働くこと(役割)について感じたこと</li> <li>・気付いたこと</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学んだことを活かし, 学習発表会で演じる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お金を貯めることについて考える。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>社会や人のために使われているお金について考える。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分たちにとって本当に必要なもの・ことについて考える。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お金編を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金について感じたこと</li> <li>・自分とお金との関わりについて</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中学校生活に関する質問や疑問をまとめる。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>実際に中学校へ行き, 中学校生活を見学する。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>卒業に向けて, これまでお世話になった方々や育ててくれた保護者の方に感謝の気持ちを表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方法や内容</li> <li>・必要なもの, こと</li> <li>・準備</li> <li>・リハーサル</li> </ul> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>感謝する会を開く。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>人生編を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの自分について</li> </ul> </div>

(6) 単元の指導計画

「知ろう 考えよう よのな科」の単元は3つの柱で構成してあるが、ここでは「人間(仕事)編」の指導計画を載せる。

「よのな科 ～人間(仕事)編～」(29 時間完了)

学 習 活 動	留意事項・「キャリア教育」に関わる評価
<p>第1時 単元の学習課題を把握する。</p> <p>(1) 「よのな科」の意味や目的について知る。</p> <p>(2) 世の中をキーワードに、思い付く言葉を挙げイメージマップを作成する。</p> <p>(3) 書いたイメージマップの中から一つ言葉を選び、発表する。</p> <p>(4) 友達の意見を聞いて、マップに言葉を付け加える。また、関係のある言葉同士を結ぶ。</p> <p>(5) 改めて「世の中」を一言で表すと何を選ぶかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会について知り、それを自分たちの身近なものをつなげていくことを理解させる。</li> <li>・すぐに思い付かない児童のために、いくつか例となる言葉を挙げる。</li> <li>・それぞれの言葉が複雑につながっていること、関係があることに気付かせる。</li> </ul> <p><b>評</b>現代社会のさまざまな事柄について興味・関心を持ち、自分で課題を見出す活動を通して、「課題対応能力(課題発見)」を評価する。</p> <p style="text-align: right;"><b>手だてA・B・C・D・H</b></p>
<p>第2～5時 会社について考える。</p> <p>(1) 会社の社長になったと仮定し、さまざまなことを考える。</p> <p style="padding-left: 20px;">○内容 ○立地場所</p> <p>(2) 雇用条件について書き、発表する。</p> <p>(3) 実際に経営者を招き、話を聞く。</p> <p>(4) お礼の手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に考えられる児童には、会社名や社員数なども考えさせ、よりリアリティーのあるものにさせる。</li> <li>・雇いたいと思う人＝雇われる際に必要なことであることに気付かせる。</li> </ul> <p><b>評</b>経営者を想定した授業を通して、今の自分にできること、今からでもやれることがたくさんあることなどに気付かせ「キャリアプランニング能力(将来設計)」を評価する。</p> <p style="text-align: right;"><b>手だてC・D・E・F・H</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問したいことや興味のある事柄を、プリントに前もって記入しておくよう伝える。</li> <li>・大切だと思うことや気付いたことなどをメモに残すようにさせる。</li> <li>・話を聞いて感じたこと、分かったことを自分の言葉でまとめさせる。</li> </ul> <p><b>評</b>経営者の方の話を聞いて、気付いたことや感じたことから、「キャリアプランニング能力(働くことの意義や役割の理解)」「自己理解・自己管理能力(前向きに考える力)(自己の動機付け)」を評価する。</p> <p style="text-align: right;"><b>手だてA・E・F・H・I・N</b></p>

第6～13時 児童の生活に身近なハンバーガー屋について考える。

(1) ハンバーガー屋の立地条件について考える。

- ・なぜその場所を選んだのか、理由も答えられるようにさせる。
- ・グループ内で班長を中心に話し合いを進めるよう伝える。
- ・発表の仕方について確認させる。
- ・出店候補地はさまざまな調査を行ってから決めていることを知らせる。

**評**ハンバーガー屋の立地条件を考え、話し合う中で「人間関係形成・社会形成能力(他者に働きかける力)(コミュニケーションスキル)」を評価する。

**手だて**A・B・C・D・E・H

(2) ハンバーガー1個の原価と原材料について知る。

- ・最も多くかかる費用は人件費であることに気付かせる。
- ・利益率について知らせ、いかに利益を多くするかを会社は考えていることを知らせる。

**評**ハンバーガーの代金が、どのような費用に使われているのかを考える中で「自己理解・自己管理能力(前向きに考える力)(主体的行動)」を評価する。**手だて**A・E・F・H

(3) ハンバーガー店について調べる。

(4) 実際にハンバーガー屋さんを迎え、話を聞く。ハンバーガーづくりを体験する。

- ・手洗いの仕方
- ・食材の食べ比べ
- ・商品の見た目 など

- ・ハンバーガー1個をどれだけ丁寧に作っているかを体験させる。
- ・食への安全性や食材へのこだわりについて理解させるとともに、外部講師の仕事に対する真摯な姿勢や考え方に気付かせる。

第14～18時 さまざまな職業を体験する。

(1) 酒造りの現場を見学する。

(2) 飴づくり体験をする。

(3) お礼の手紙を書く。

- ・質問したいことがあれば、そのつど聞いていくように伝える。

**評**さまざまな職業を体験する活動を通して、社会生活にはいろいろな役割があること、さまざまな仕事にそれぞれのやりがいがあることなど「キャリアプランニング(働くことの意義や役割の多様)」「自己理解・自己管理能力(自己の動機付け)(主体的行動)」を評価する。

**手だて**A・E・F・G・H・I・J・N

第 19～25 時 児童会行事「須西っ子夏祭り」を企画・運営する。

- (1) 店の内容を話し合う。
- (2) 経営者として店を成功させるために何が大切かを考える。
- (3) 準備をする。
- (4) リハーサルをする。
- (5) 振り返りをする。

- ・「足あとファイル」を振り返りながら、これまでの学習を想起させる。
- ・お店を運営するには、さまざまな条件を考える必要があったことに気付かせる。
- ・須西っ子夏祭りを成功させるために大切なことを考えさせる。
- ・準備と当日の係、2つの役割に分けられることを知らせる。

**評**グループ内での役割を理解し、話し合いがスムーズに進み運営できるよう、協力することを通して「人間関係形成・社会形成能力(他者の個性を理解する力)(チームワーク)」「キャリアプランニング能力(働くことの意義や役割の理解)」を評価する。

手だて A・B・C・D・E・F・G・H・J

第 26～29 時 学習発表会で、これまで経験したことを創作劇として演じる。

- ・与えられた役割をやり遂げるために必要なことを考えさせる。
- ・伝えたいことを相手にきちんと伝えられるよう、せりふの言い回しだけではなく、振りを付けるよう指導する。
- ・見る人が分かりやすいよう、小物や衣装など、工夫を凝らすようにさせる。

**評**学習発表会の練習を通して「人間関係形成・社会形成能力(他者に働きかける力)(チームワーク)」「自己理解・自己管理能力(自己の役割の理解)」「キャリアプランニング能力(行動と改善)」を評価する。手だて A・F・H

## 6 実践の実際と考察

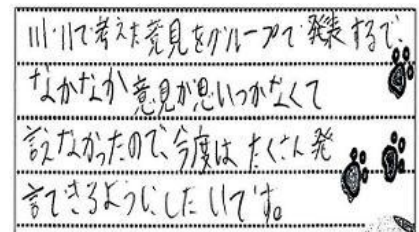
### (1) 関わり合いの仕方に関する工夫の手だて

ア 児童同士の関わり合いの場の設定…手だて A・B

生活班や須西っ子夏祭りの役割など、4～5人の少人数で話し合う機会を多く設けた。少人数で話し合うことにより、グループの全員が話をしたり、聞いたりすることができた。初めのころは、話し合いが

うまく進められず、言い合いになってしまうグループがあったため、同じ児童に班長やリーダーを務めさせた。そのことにより、班長やリーダーは、何度も司会を経験することができ、流れを理解してスムーズに話し合いが進められるようになってきた。班長やリーダーを中心とした話し合いができるようになるにつれ、初めはなかなか自分の意見を伝えられなかった児童も、発言しようとする意識が高まり

### 【資料2 意識の高まり】





(須西小 p.8 **【資料2】**)、グループの一人一人が自分の意見を言いやすくする環境を形成することができた。そして、須西っ子夏祭りの出店の企画・運営について話し合う場面では、自分から進んで発言をする児童が多く見られるようになった。回数を重ね経験させることで、司会の進め方だけでなく、児童の発言意識も高められることが分かった。

**【資料3 板書の工夫】**

また、児童の話し合い活動がスムーズに進んだり、思考の手助けになったりするよう板書に工夫を凝らした。例えば**【資料3】**のようにチョークの色を変えて児童が提案した事柄をテーマ別に分類したり、須西小 p.12 **【資料22】**のように付箋を利用して職業を発表させたり、須西小 p.12 **【資料23】**のように児童が発言した言葉をイメージマップとしてつなげたりしたことである。

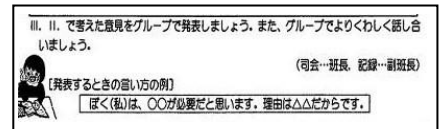


そうすることで、児童は現在考えなければならない内容を視覚的に捉えることができ、その後の話し合い活動を、より活発に進めることができた。

イ 人に伝える際の支援の仕方の工夫…**【手だてC・D】**

伝える前に自分の考えを整理しておくことは大切である。意見を発信できない児童の多くは、自分の考えをもっている、何を話したらよいのか、また、何から話すとよいのかが分からないようであった。そこで、自分の意見を書く時間をできるだけ設けた。まずは思い付いたことを書くようにさせ、時間に余裕があれば話す順序を考えるよう指導した。また、話し始めで困っている児童には、プリントに載せた話型**【資料4】**を見ながら発言をするようにさせた。その結果、自分の考えを進んで発言できるようになった児童が増えた。また、自分の考えをまとめられるようになった児童もいた。他にも、話す順序をあらかじめ決めておくことで、心の準備ができた児童や自分の考えを再度見直し、より詳しく具体的に話すことができた児童がいた。

**【資料4 話型の例】**



**【資料5 余白に書かれたメモ】**



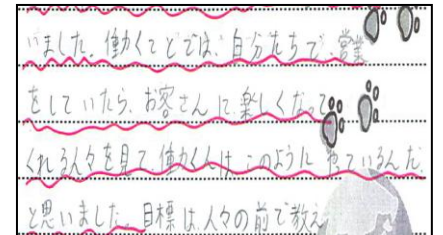
**【資料6 メモを取る様子】**



ウ 話を聞く際の支援の仕方の工夫…**【手だてE・F】**

プリントに余白を設けておき、自分が気付いたことや思ったことを書き込むようにさせた。初めはメモをとる習慣がないためか書き込みをする児童は数人であったが、授業が進むうちに書き込む児童が増えた**【資料5】**。特に書き込む姿が多く見られたのは外部講師の話である。聞いたことは全て大切であると意識を高くもち、集中して話を聞きメモを取る姿が見られた**【資料6】**。

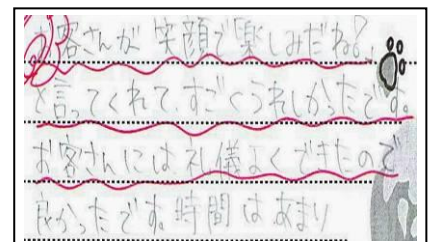
**【資料7 お客に対して】**



エ 地域との連携活動を取り入れ、学校外の人と関わる機会の設定…**【手だてG】**

児童会行事「須西っ子夏祭り」は地域の方も参加する活動である。毎年、保護者を中心に多くの方が来校する。児童にとって「よのな科」で学んださまざまなことを実践で生かせるよい機会である。児童の様子を見てみると、挨拶や言葉遣いなど、お客と接する際に大切なことを考えて行動できていたようであった。振り返りでは、お客さんが楽しくなってくれることがうれしい**【資料7】**、お客さんに礼儀正しくできた**【資料8】**と心構えに関することを注意できた自分に気付き、書くことができた。

**【資料8 礼儀正しくできた】**



学校外の人と関わることで自分の言動を見つめ直すことができたようであった。また、飴づくりやハンバーガーづくりなどで来校された方に対して、どのような態度で活動に取り組めばよいのかを一人一人が考え、行動できた。

## (2) 振り返りの仕方に関する工夫の手だて

ア 活動後の振り返りプリント「学びの足あと」の工夫

…**手だてH**

本校では「学びの足あと」と呼んでいる振り返りプリントをどの学年も使用している。気付いたことや感じたことを自由に書き、基礎的・汎用的能力4能力のどの部分について書いたのかを意識できるよう、自分で評価できる枠を設けている（須西小 p.3 **【資料1】**）。それにより、初めから基礎的・汎用的能力を意識し、目標を立てて振り返ることができた児童**【資料9】**や4能力それぞれについて振り返ることができた児童**【資料10】**が出てきた。「学びの足あと」は全職員がいつでも印刷できるよう、パソコン上に共有してあり、個々の使いやすいように変更することも可能である。手軽に使用できることで、教職員はいろいろな活動において児童の「足あと」を残すことができた。また、義務教育課から出された「キャリア教育ノート」を活用し、自己紹介カード**【資料11】**を書かせたところ、自分のよいところを書くことができ、違う一面に気付くことができた。これらの振り返りプリントをファイルにとじ、いつでも見られるようにしている。以前書いたことや感じたこと、気付いたことを見て、自分に対する見方が変わり、自己の成長に気付けた児童も出ている。

イ お世話になった人へのお礼の手紙…**手だてI**

キャリア教育に取り組むにあたり、地域の理解と協力はとても大切である。快く体験させてくださった方々に児童ができることは、お礼の手紙で感謝の気持ちを伝えることである。児童は、勉強になったことや気付いたこと、今後の自分に関わることなど、具体的に文章に表すことができた**【資料12】**。また、体験に関わる挿絵を入れたり、丁寧に色を付けたりすることもできた。お礼の手紙を書くことで、自分たちのために時間を作ってくれたことへの感謝の気持ちを再確認できた。手紙をまとめて講師の方に渡すと、児童が考えていることに感動してくださり「今後も…」と、ますます地域とのつながりが密になったように感じた**【資料13】**。

ウ 気付いたことや思ったことを全体で交流できる場の設定

…**手だてJ**

振り返りを見ていると、すばらしい気付きや意見に出会うことが多くなってきた。そこで、活動後の考えや感想を全校で交流できる場を設定することにした。これまで写真のみを掲示していた場所に、児童の手書きによるコメント（須西小 p.11 **【資料14】**）を入れるようにした。そうすることで、他学年の活動を知ったり、自分が気付けなかった視点や意見を見付けたりすることができた。また、コメントを書いた児童も、自分の意見を再度振り返ったり、他者から認められた

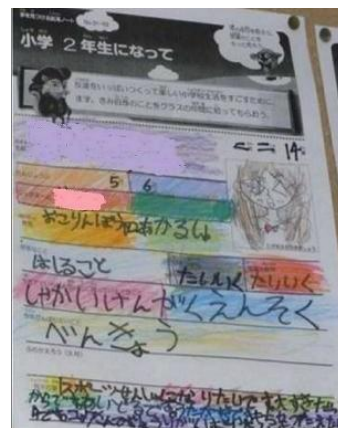
### **【資料9 目標を立てて臨む】**

目標は、ハンバーガーショップの人たちの話をちゃんと聞いて指示に従うことです。今回の目標は、手洗いやハンバーガーの手順をよく聞いて、全て指示通りにできたと思うので、目標を達成できたと思いました。

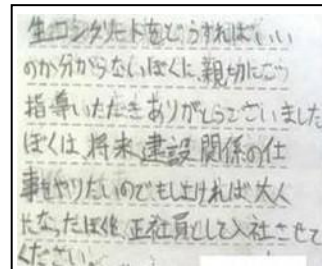
### **【資料10 4能力全てを振り返る】**

人と関わる中で気付いたことは、ずっと昔からお酒を作り続けて、どんどんお酒造りを継いで守り続けていくことも大事なんだなあと思いました。目標や課題は、お酒の原料や機械を見て、学ぶことです。

### **【資料11 キャリア教育ノート】**



### **【資料12 お礼の手紙】**



### **【資料13 手紙をプレゼント】**



りして、自信へとつなげることができた。また、地域や保護者の方などがよく通る場所に掲示してあるため、来校される方へのよい活動紹介の場ともなっている。

【資料 14 手書きのコメント】



(3) 人の役に立つことの必要性を実感できる授業、活動を意図的に取り組むための手立て

ア 教職員の共通理解を図る定期的な校内研修の実施…**手だてK**

各教科や道徳、総合的な学習の時間など、学校生活において、キャリアの視点はどこになるのか、基礎的・汎用的能力をいかに児童に身に付けさせるかなど、教職員は常にキャリア教育を意識した実践を進めることができた。全校に配付される家庭版「すにし」【資料 15】では、キャリア教育で体験したことをそのつど掲載し、保護者や地域へ取組の様子を伝えている。

【資料 15 家庭版「すにし」】



また、これまで定期的に校内研修を行い、キャリア教育について教職員が共通理解をもてるようにしてきた。キャリア教育に関することはもちろん、学級や学年の情報交換を密に行えたことで、教職員のキャリア教育に対する意識は高まりつつある。夏休みに

外部講師を招いて行った講習会でも、活発に意見を交換する様子が見られた。そのため、それぞれがキャリア教育に関する気付きや思いをもつことができるようになった【資料 16】。例えば、「須西っ子夏祭り」の計画・準備が昨年度に比べて手際よく進められたことや飴づくり職人の話を熱心に聞く児童の様子を見て、興味がわく教材発掘の必要性や感動体験の尊さについて気付いたことなどである。このことから、教職員一人一人がキャリア教育を真剣に考え、進めていこうとしていることが分かる。

【資料 16 教職員それぞれのキャリア教育に対する考えや想い】

★ 気づかれたことなどがありましたら、書いてください。

授業内容は、興味や好奇心が湧くもので、広く深く、そして、子ども達の気づきや感動があるものばかりだと思います。

★ 気づかれたことなどがありましたら、書いてください。

夏祭りの計画・準備を見ていると、5年生時と比べ、ぐんと手際がよくなっており、おどろいた。計画をしたあと、それぞれの分担をもくもくとなすことができた。

イ キャリア教育の視点を捉えやすくする「キャリアプログラム」の作成…**手だてL**

平成 23 年度の中央教育審議会答申では「日常の教科・科目等の教育活動の中で育成してきた能力や態度について、キャリア教育の視点から改めてその位置づけを見直し…」と示している。それを受け本校では、須西小 p.19【資料 17】のような独自のキャリア教育の視点を示すことにした。基礎的・汎用的能力 4 能力を基調提案 p.3【資料 3】と絡め、発達の段階に応じて低・中・高学年ごとに目指す具体的な態度を挙げた。それにより、キャリアの視点が捉えやすく、さまざまな教育活動に生かすことができた。

ウ キャリアカレンダーの作成・精選…**手だてM**

本校でのキャリア教育の視点を明確にした「キャリアプログラム」をもとに、学年ごとの年間計画「キャリアカレンダー」を作成した。キャリア教育を 1 年間継続して行っていることが分かるもの（須西小

p. 20【資料 18】)と学年ごとの各教科、道徳、総合的な学習の時間、学校行事との関連が分かるようなもの(須西小 p. 21【資料 19】)を作成し、活用することができた。今後も毎年更新していく予定である。

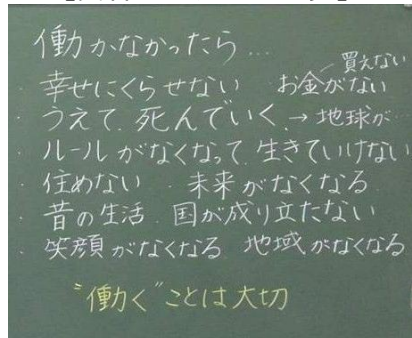
エ 仕事の必要性や意義を感じられる活動…**手だてN**

総合的な学習の時間を軸に、仕事の必要性や意義を感じられる活動を行ってきた。平成 23 年度は「働く人々調査隊」、平成 24 年度は「知ろう 考えよう よのな科」である。

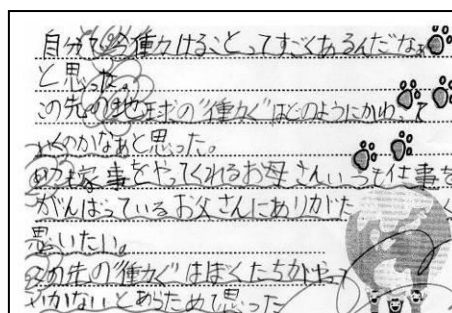
(ア) 5年「働く人々調査隊」の授業実践(抜粋)

第1時には、「働く」とはどういうことを考えさせた。児童は初め「働く=職業」と捉えていたが、授業を進めていくうちに、当番や係などの「役割」も働くことの一つであることに気付くことができた。また、さまざまな「働く」がなければ、幸せになれないことや笑顔がなくなることなども考えることができた【資料 20】。「足あと」には、家族のために働いてくれている親への感謝の気持ちや自分の将来について真剣に考えようとする気持ちを多くの児童が書いた【資料 21】。「働く」をキーワードにたくさんのことを考えることができた。

【資料 20 児童の意見】



【資料 21 感謝の気持ち・将来】



第2時は身の回りの働く人々を調べた。ほとんどの児童が保護者の職業について調べてきた。保護者もこの活動の趣旨を理解し質問に答えてくれた。その結果、児童は「好きなこと」や「興味のあること」、「やりがい」や「経験」という、職業選択にあたって重要な要素があるということを理解できた。また、これまで知らなかった保護者の仕事について詳しく知ることができたことも、児童にとってよかった。

【資料 22 職業マップ作成】



第3時は「職業マップ」【資料 22】を作成した。現在自分が興味をもっている職業について調べ、発表を行った。「足あと」を見ると、世の中には知らない職業がたくさんあることに気付くことができた児童が多かった。また、将来自分がどんな職業に就くのかを真剣に考えることができた児童もいた。そして、飴づくりや相撲見学、くすの木の花壇づくり、クレープづくりなど、「本物からの体験」をしたことで、より具体的に「働く」ということがイメージできたようであった。

これらの学びを通して、児童の「働く」ことや職業への関心、将来に関する意識は高まりつつあった。

(イ) 6年「知ろう 考えよう よのな科」の授業実践(抜粋)

第1時は「世の中」というキーワードから浮かんでくる言葉をイメージマップにして書かせた。その後、考えを発表し合い【資料 23】のようなマップが完成した。児童は世の中が複雑につながっていることに気付けたようであった。最後に「世の中を一言で表すなら」と問うと、「人間」「お金」「死」という3つの言葉が多く挙げられた。そこで、「よのな科」では、人間(仕事)編・お金編・人生編の3本柱で進めていくことにした。

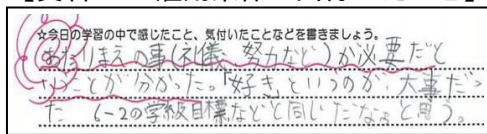
【資料 23 完成したイメージマップ】



第2時は「君が社長だったら」とし、経営者の立場から、会

社の内容や立地，雇用条件などについて考えさせた。児童は，現在興味がある会社(ゲーム会社，ケーキ屋さんなど)を立ち上げ，立地場所なども具体的に書いていた。社長になって考えるのは楽しかったようである。雇用条件には「おもしろい人，経験者，文句を言わない人，笑顔がよい人」などたくさんの条件が出た。振り返りでは「私が会社に入るなら笑顔と礼儀を大切にしたい」と将来について考えられた児童や「あたりまえのことが必要だということが分かった。学級目標などと同じだなと思う」【資料 24】と，現在と結び付けて考えることができた児童もいた。

【資料 24 雇用条件で気付いたこと】



第 11 時からハンバーガーチェーンに依頼し，ハンバーガーについての話とハンバーガーづくりを体験した【資料 25】。事前学習として，ハンバーガー屋の立地条件や原価，輸入について調べておき，講師への質問を考えて臨んだ。

【資料 25 ハンバーガーづくり体験の様子】

児童がまず驚いたのは来校した講師の人数であった。近隣のチェーン店から約 30 名のスタッフが来てくださり，テーブルごとに詳しく丁寧に教えてもらえた。いつも行っている手洗いの仕方や材料の食べ比べなどを体験することができ，児童一人一人にとって貴重な時間となった。

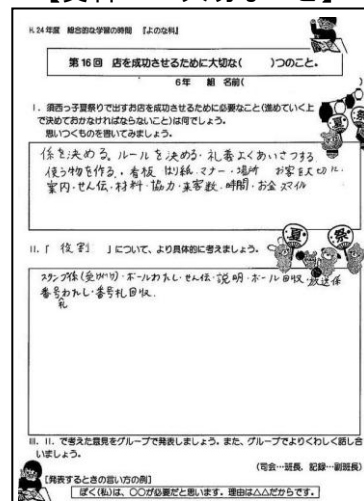


振り返りでは「衛生面に気を遣っていることや少しの違いで野菜がおいしくなることが分かった」や「レタス 30g を一発で測れるなんてプロだと思った」など，実際に経験したときに感じたことを素直に書いていた。他にも，酒造見学や飴づくりなど，さまざまな体験を行うことができた。体験し，本物に触れられるということは何よりも大切だと改めて感じた時間であった。

第 19 時からこれまで学んできたことを思い出し，学校行事である夏祭りを実際に企画・運営する活動に取り組みさせた。

【資料 26 大切なこと】

まず考えなければならないのは内容である。内容を話し合う場面では，初めは自分たちだけが楽しいと思うものばかり出ていた。しかし，誰のために行うのかを考えさせると，「来てくれるお客さん」や「低学年」と意識が変わり，「みんなが楽しめるもの」という共通理解のもと，再度話し合いを進めることができた。その結果，「これならみんなに楽しんでもらえそうだ」という意見が出て，「戦闘中」というアトラクションを行うことになった。「みんなで」という意識が生まれたことはよかったが，今回は一部の児童による発信で進んだ話し合いとなってしまったことが心残りとなった。



次に，店を成功させるために何が大切かを考えさせた。多くの児童が「ルール」「時間」「係」と書いている中，「礼儀」「挨拶」「お客を大切にすること」など，心構えについて書けた児童がいた【資料 26】。これまでの「よのな科」の活動を振り返り，自分なりに考えられた結果だと感じた。そこで，この意見を発表させたところ，多くの児童がメモを取った。このことから，心構えの大切さについて，他者の意見から気付けたことがうかがえた。また，大事なことはすぐにメモを取っておこうとする姿勢も身に付きつつあることがあった。

振り返りでは，「店を成功させるためには，協力・礼儀・お客さんを大切にすることが必要」と心構えを改めて書いたり，「外(他)の班の意見も見て，改めて大切なことがわかりました。本番に準備を

しっかりして、成功させたいと思います。みんなに笑顔で『楽しかったね』と言ってもらえるよう、がんばりたいです」と本番への意気込みを書いたりした児童がいた【資料 27】。

外の班の意見も見て改めて大切なことがわかりました。本番に準備をしっかりして成功させたいと思います。  
みんなに『笑顔』で楽しかったね、と言ってもらえるよう、がんばりたいです!

このように、準備から心構えまで、さまざまな事柄について話し合いを行った。話し合いは、回数を重ねるごとにスムーズに計画的に進められるようになった。当日は予想しなかったハプニングが起きたようだが、そのつど話し合いをして最後までしっかりと活動できた。

須西っ子夏祭りを通して、働くことの大変さや話し合うことの必要性、役割を果たすことの大切さについて理解することができた。

(4) 発達の状況に応じたキャリア教育(抽出児童の様子)…**手だてA・B・G・H・I・N**

これまで取り組んできたさまざまな活動を通して、働くことや役割、将来に関する児童の関心は高まりつつある。しかし、個々の児童によって気付きや感じ方に違いが生じてきているという事実もある。ここで、発達の状況ごとに児童の様子を見ていきたい。

【資料 28 児童Aの振り返り】

はし(自分の)将来は那覇をやるけど  
ダンスもやりました。店をひらいた  
いよ思いました。  
将来をのぞくには自分のことしめ  
るというめざして 人はお酒を  
作り始めたんだと思ひました。  
7月18日の さんの所職人のそばをみて、おびと  
が早く人ありました。 さんは早くおびと  
じと教えて、元のは、お時間は早くさんないう  
早く行動して作ることを感じました。最後

☆児童A・・・ 学習に対する理解が早く、何事にも真面目に取り組み、意欲が高い。将来なりたいものが決まっている。

どの活動においても、自分の将来と結び付けて書くことができ、常に今の自分と将来の自分を照らし合わせて振り返ることができた。須西っ子夏祭りの準備でも須西小 p.13【資料 26】のように、心構えや礼儀など、実際に働くことを想定して考えることができていた。また、須西小 p.9【資料 7】から、働く人の気持ちに迫れていることが分かる。【資料 28】は外部講師が来た際の振り返りであるが、回数を重ねることにより、働くことについて詳しく具体的に考えられるようになってきていることが分かる。

☆児童B・・・ 自分勝手な行動をしてその場の雰囲気や壊してしまうことがある。将来なりたいものはまだ決まっていない。

【資料 29 児童Bの振り返り】

受付係の前日に、ぼくはなにもしない  
と。  
当日にはひまわりがとま 99、120  
自分の仕事のできはとちりまで仕事  
はできていたけれど、遊んでしまっ  
てしまった。

かななかったようだが、自分の役割を果たそうと努力する姿が見られた。また、同じ係の児童もその様子を見て、準備段階で話し合ったことを児童Bに教えてあげていた。振り返りでは「途中まで(自分の役割)はがんばった。遊んでしまっただけ残念だった」と自分のがんばりを認めるとともに、反省をすることができた。

その後もさまざまな役割に取り組ませ、振り返る時間を設けていった。運動会前に、それぞれの目標【資料 30

【資料 30 最近の児童Bの目標(左)と振り返り(右)】

役割 放送のCDをかける時、番号をまちがえないようにする。 放送の仕事になった時おびはひまわりの所まで、行く。 おびはひまわり 赤色ののをひまわりとて、かけこて、1位をとることにする。 ＜おびの97-をしっかりとやりました。＞	放送の仕事は、CDをかけることには気が ひまわりが元気がいい。 ＜おびの97-は、しっかりとやりました。＞
--	---

料 30】を書かせたのだが、児童Bもしっかりと目標を立てることができ、反省も自分から進んで書くことができた。最近では、自分勝手な言動がほとんどなく、落ち着いて活動に取り組めるようになった。

## 7 成果と課題

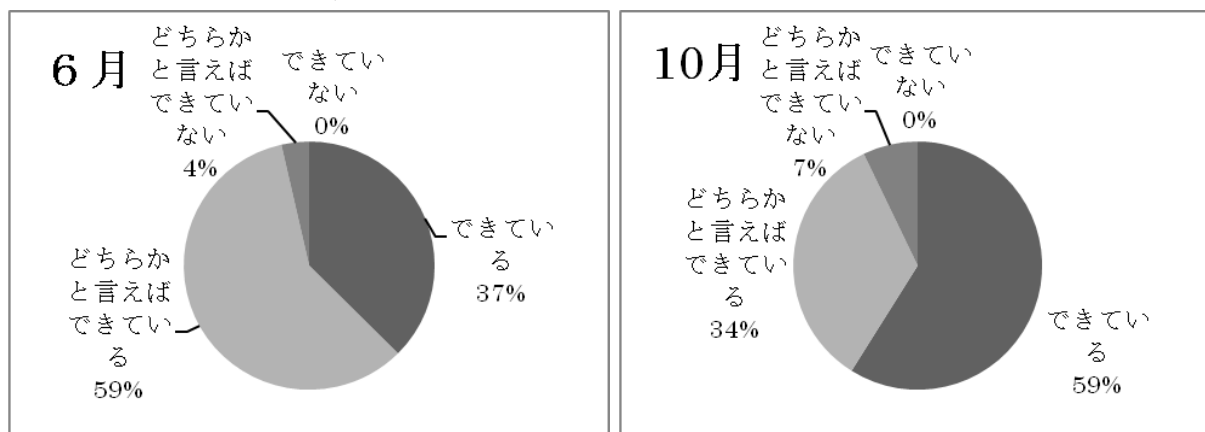
### (1) 成果

ア 児童のアンケート結果から

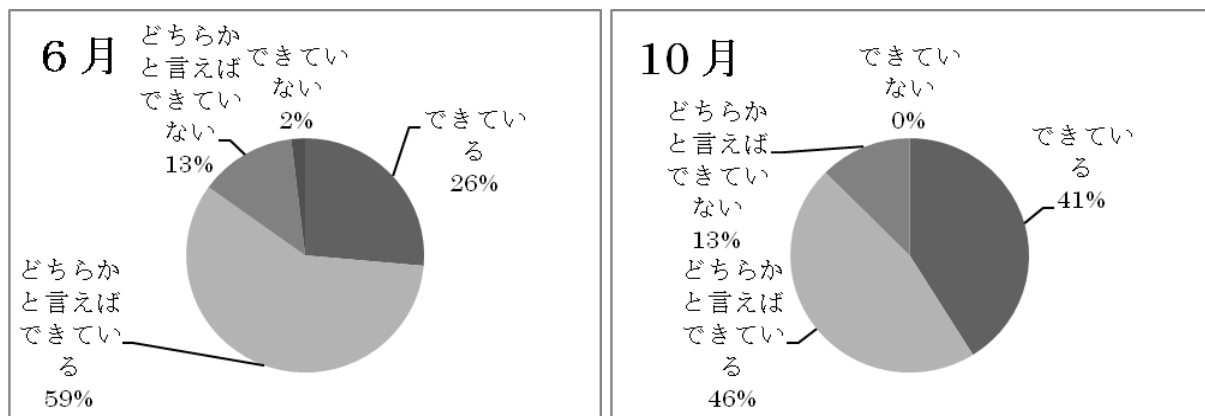
児童のアンケート結果を見ると、【資料 31】のように、「人間関係形成・社会形成能力」に関わる項目全てで「できている」が増加した。円滑なコミュニケーションがとれるよう努力していることが分かる。

【資料 31 「人間関係形成・社会形成能力」に関わる児童アンケート（6年生 34 人）】

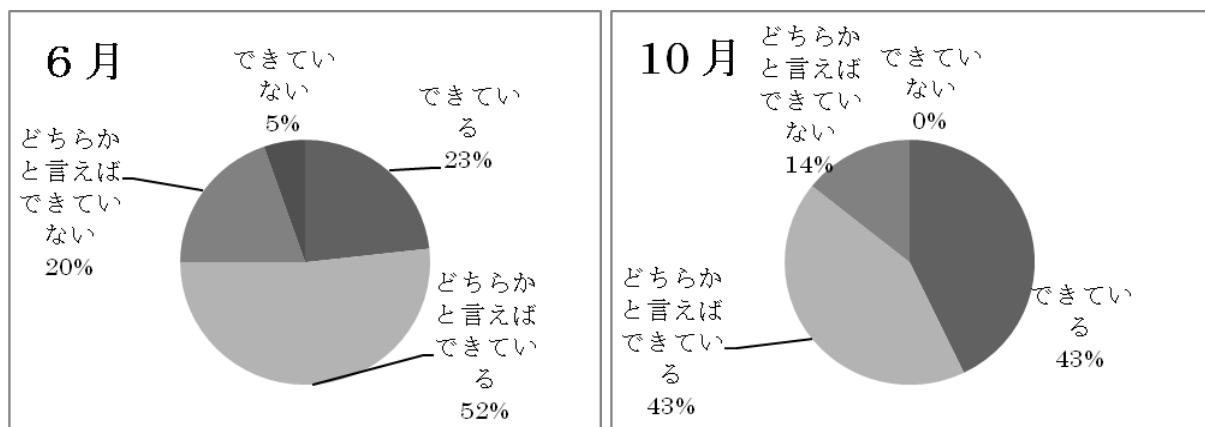
① 友達の性格や気持ち，自分の周りにいる人たちの考え方について分かってしようとしている。



② 周りの人のことを考えて，自分の思いや考えを話している。



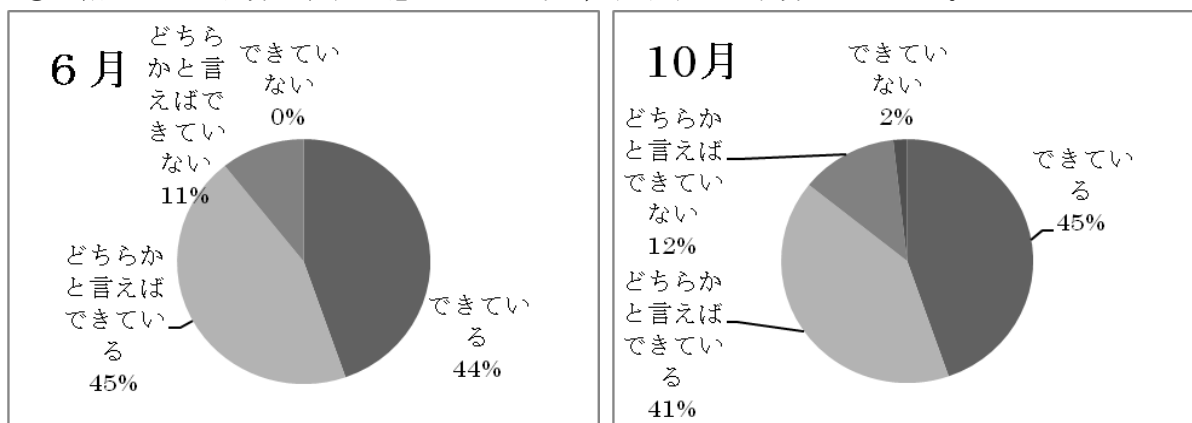
③ 時と場に応じてふさわしい行動をとることができる。



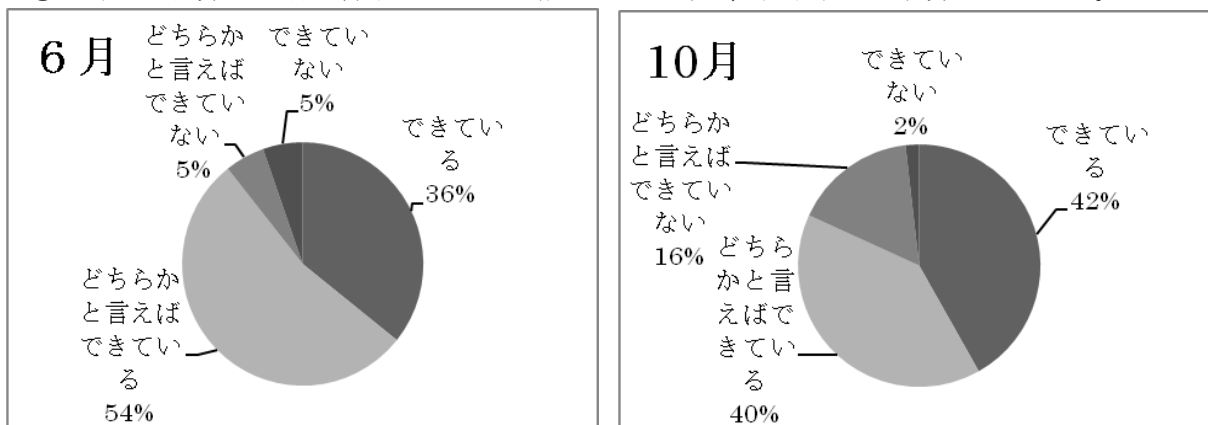
また、「キャリアプランニング能力」に関わるアンケート調査【資料 32】では、すべての項目において、「できている」と回答した児童の割合が6月と比べて増えている。このことから、研究の方法「(1) 関わり合いの仕方に関する工夫の手だて」と「(2) 振り返りの仕方に関する工夫の手だて」を实践したことにより、児童の「人間関係形成・社会形成能力」が、「(3) 人の役に立つことの必要性を実感できる授業、活動を意図的に取り組むための手だて」を实践したことにより、「キャリアプランニング能力」が高まりつつあると言える。

【資料 32 「キャリアプランニング能力」に関わる児童アンケート(6年生 34人)】

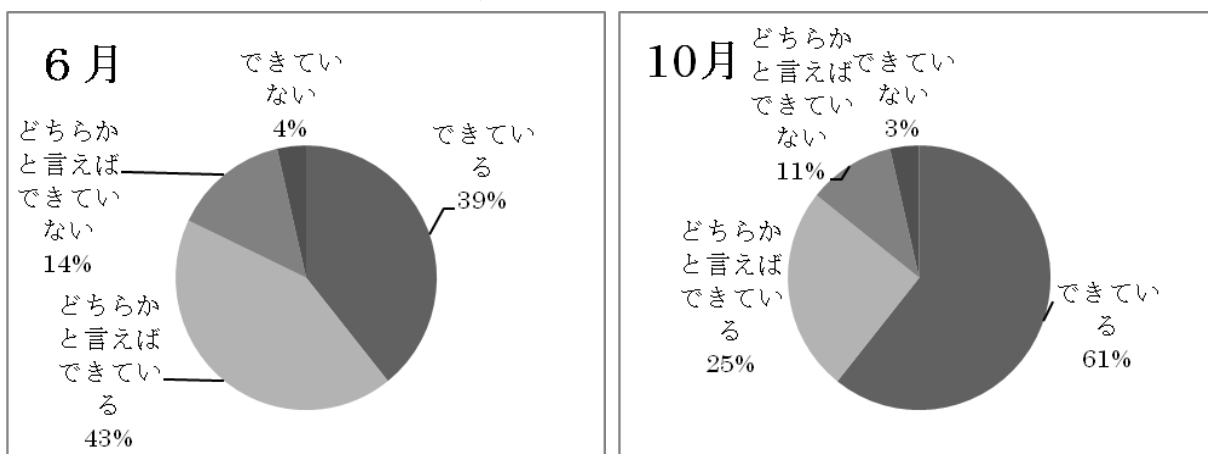
① 働くことや自分の役割の意味について考え、行動するよう努力している。



② 毎日の自分の生活と将来の生き方を結び付けて考え、行動するよう努力している。



③ 自分の将来の夢に近づくために、何をしたらよいか考えて行動するよう努力している。

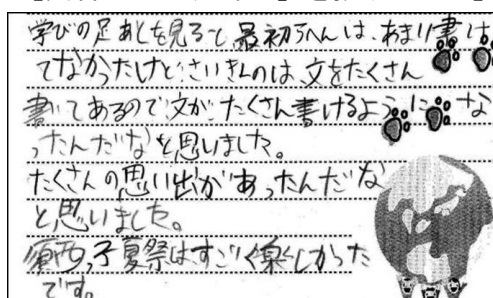




イ 振り返りプリント「学びの足あと」の有用性

さまざまな実践後に振り返りで活用した「学びの足あと」は、枚数を重ねるごとに自分の気持ちをたくさん書くことができるようになってきている。特に、高学年では、活動に対して自分の生活や将来の夢、今後の目標と関連付けて考えをまとめることができるようになった児童が増えてきた。また、学年が上がるにつれて、書く内容が詳しく、具体的になっていることが分かる。そして、これまでの「足あと」を振り返り、自分の努力を認めることができた児童も出てきた【資料 33】。

【資料 33 「足あと」を振り返って】

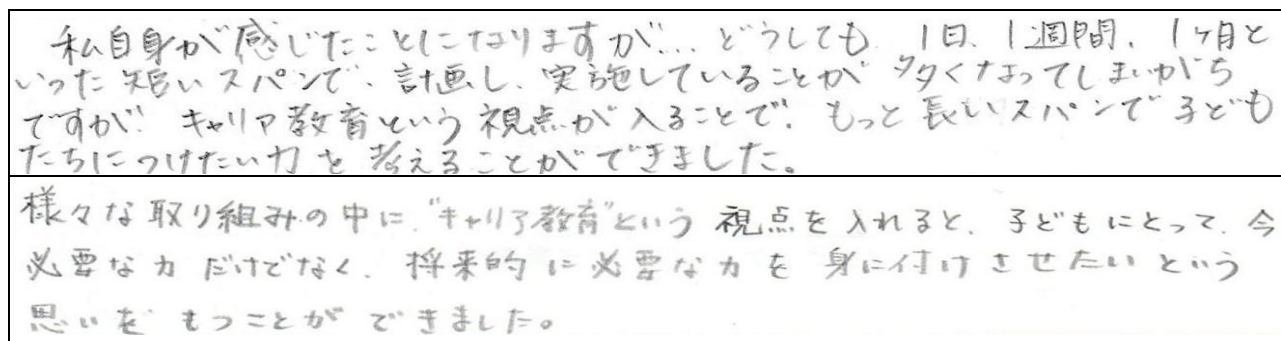


6年間を通して「足あと」で振り返りを行い、とじていけば、素晴らしい記録ができると実感できた。そして、中学校への3年間につなげていけるとよいと感じた。このことから、振り返りプリント「学びの足あと」は、児童にとって自分を見つめる有効な手だてであったこと、自己実現に向けての足がかりとなったことが言える。

ウ 教職員のキャリア教育に対する意識

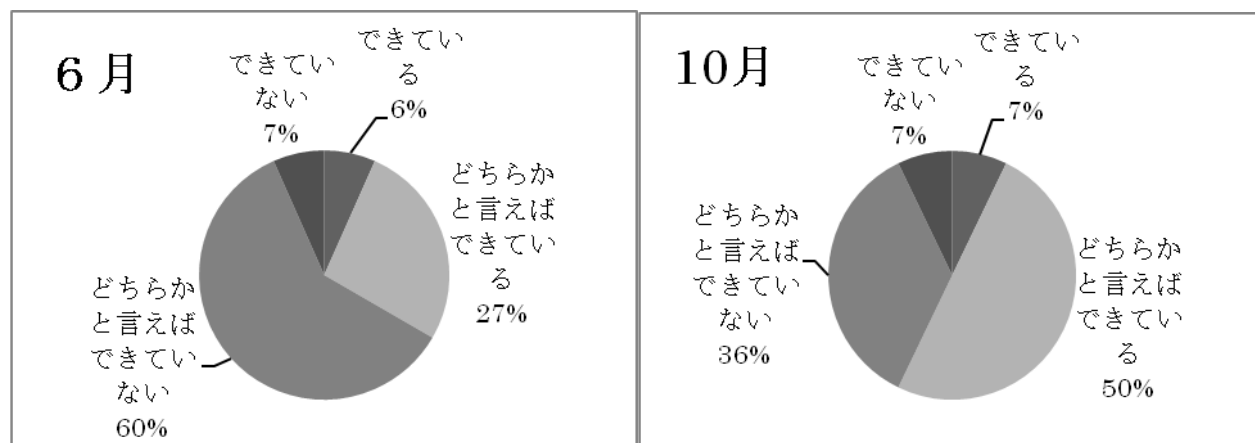
キャリアの視点を常に意識して実践を進めたことで、教職員のキャリア教育に対する理解は高まっている。【資料 34】のように「長いスパンで教育活動を見られるようになってきた」という意見が出た。また、「発達の段階によって差はあるが、個々の成長が見られるようになってきた」という意見もあり、教職員それぞれがキャリア教育の視点で児童の様子を捉えられるようになってきている。

【資料 34 10月アンケートに書かれた、教職員の想いや考え】



アンケート結果【資料 35】を見ると、「(児童が) 他者の個性について理解している」という割合が増加していることが分かる。コミュニケーションの基本である他者理解を大切にして教育活動を進めてきた成果であると考ええる。

【資料 35 「他者の個性について理解している」に関する教職員アンケート (14人)】

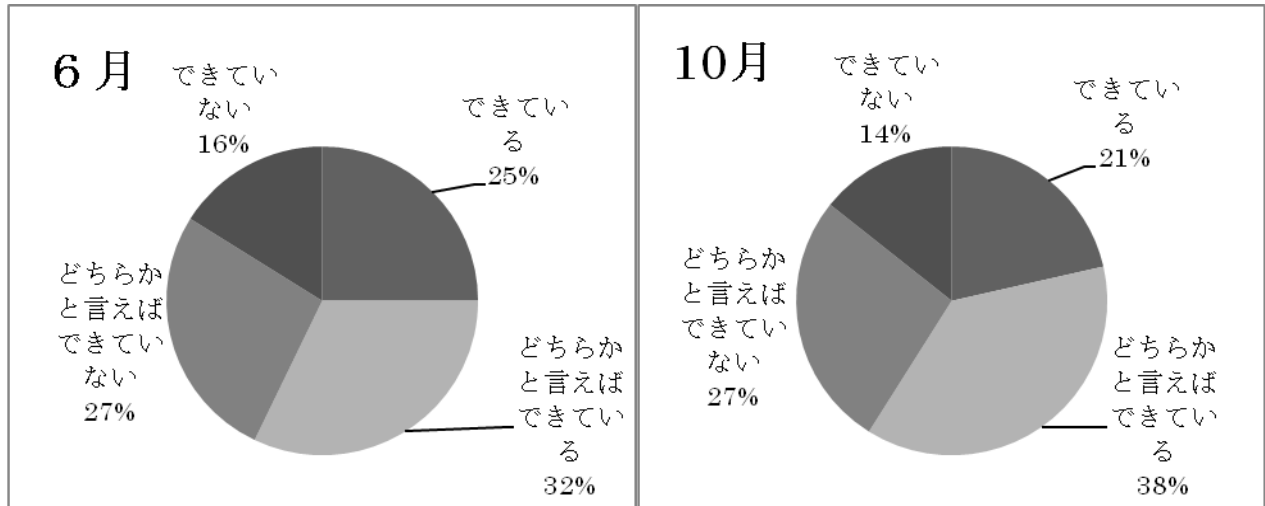


## (2) 課題

### ア 取組の個人差について

これまでの活動や振り返り「学びの足あと」を見ると、児童の取組状況に差があることが分かる。個の発達の段階を考えると仕方がないことなのかもしれないが、できるだけ個人差をなくしていきたい。また、今回のアンケート結果で「どちらかと言えばできていない」「できていない」と回答した割合が多かったのは、「自分のよいところを知っている」に関する項目【資料36】である。そして、さまざまな取組に意欲的になれない児童は、自己肯定感が低いということもアンケートから分かった。今後は自己肯定感を育めるような授業、活動を今以上に考えていく必要性を感じている。

#### 【資料36 「自分のよいところを知っている」に関する児童アンケート（6年生56人）】



### イ キャリアカレンダーの精選

これまでに作成・精選してきた「キャリアカレンダー」だが、今後もよりよい教育活動を行っていく上で、さらなる精選が必要である。活動の中だけでなく、児童が普段の生活の中で自ら「実践していける」「実践していこう」と思えるような取組を考えていく必要がある。

### ウ アンケートの継続と項目の検討

アンケートを取ることで他者理解や将来の生き方など、児童の現状が浮き彫りになった。今回はどの項目も比較的「できている」「どちらかと言えばできている」の回答が多かったが、課題アにも挙げたとおり、自己肯定感に関わる項目は全体を見るとやや低い。今後は、本校の現状やねらいに合わせたより細かな項目のアンケート（「日頃から挨拶をしているか」など）を作成していきたいと考えている。

## 8 おわりに

今回の研究を通して、キャリア教育は新たに始める必要はなく、今ある全ての教育活動をキャリア教育の視点で捉え、学校や学級の実態に合わせて取り組んでいけばよいということが分かった。視点を少し変えるだけで、さまざまな実践が可能であることがキャリア教育の素晴らしいところではないかと感じている。

キャリア教育を実践する中で、児童が「よりよく生きる」「夢を実現させる」「たくましく生き抜いていく」ために何が必要なのか、これから確実に大人へと成長を続ける児童に、今、身に付けさせたいことは何か、それらを問い続けることがキャリア教育であり、私たち教職員に必要なことであると感じた。児童にとって学校は「小さな社会」であり、学ぶこと全てが将来への基盤となるのである。今後もさまざまな教育実践をキャリア教育の視点で捉え、継続して実践を進めていきたい。

<本校のキャリア教育で育む基礎的・汎用的能力>

(1) 自他を認めながらコミュニケーションを図り、協働して物事に取り組もうとする能力 【人間関係形成・社会形成能力】  
→ 社会との関わりの中で生活し、仕事をしていく上での基礎を培いたい。

(2) 自分を見つめ、「できること」「したいこと」について気付き、理解し、今後の自分に必要なことを考えようとする能力 【自己理解・自己管理能力】  
→ 自信や自己肯定感の低さが問題とされる中、「やればできる」と考えて行動できるようにしたい。

(3) 生きていく中で起こるさまざまな課題を発見・分析し、適切な計画を立てて課題を処理し、解決しようと努力する能力 【課題対応能力】  
→ 自ら行うべきことに意欲的に取り組めるようにしたい。

(4) 「働くこと」の意義(役割や職業について)を理解し、多様な生き方に関する情報を適切に選択・活用しながら、自分の将来を組み立てていこうとする能力 【キャリアプランニング能力】  
→ 生涯にわたって、社会人・職業人として生活していくことができるようにしたい。

**よりよく生きる力と夢を育み続ける教育の実践**

★ **生きる力と夢を育むために身に付けさせたい能力と各学年の具体的な態度**

能力		能力の具体的要素			
		低学年	中学年	高学年	
社会・人間関係形成能力	自他の理解	自己理解を深め、互いに認め合うことを大切に行動していく力	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の個性を理解する力</li> <li>他者に働きかける力</li> <li>コミュニケーションスキル</li> <li>チームワーク</li> <li>リーダーシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協力して仕事をする</li> <li>仲よくする</li> <li>丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話す</li> <li>はっきりした発音で話す</li> <li>互いの話を集中して聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに信頼し、学び合って友情を深め男女仲よく協力し助け合う</li> <li>リーダーシップを取り、異年齢の友達と楽しく活動をする</li> <li>広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること</li> <li>人の役に立つ積極的な行動を心がける</li> <li>目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す</li> <li>外国語活動を通じて、コミュニケーションを図ることの楽しさや大切さ</li> </ul>
	コミュニケーション	多様な集団・組織の中で、豊かな人間関係を築く力			
自己理解能力	社会参加	現実社会でどのように自己実現していくのかを見通す力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の役割の理解</li> <li>前向きに考える力</li> <li>自己の動機付け</li> <li>忍耐力</li> <li>ストレスマネジメント</li> <li>主体的行動</li> <li>責任感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶、言葉遣い</li> <li>健康や安全に気を付ける</li> <li>ものを大切に使う</li> <li>規則正しい生活をする</li> <li>生活や学習に進んで取り組もうとする態度を育てる</li> <li>自分の成長を振り返り、できるようになったことを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできることは自分でする</li> <li>よく考えて、節度ある行動をとる</li> <li>礼儀の大切さを知り、誰に対しても思いやりをもって接しようとする</li> <li>自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる</li> <li>自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす</li> <li>約束や社会の決まりを守る</li> <li>日常生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度を身に付ける</li> </ul>
	規範意識	人間として必要なものを身に付ける力			
	自己評価・決定	自分を見つめ、自らに必要な学びを選択できる力			<ul style="list-style-type: none"> <li>法や決まりを守る</li> <li>時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する</li> <li>誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って行動する</li> <li>他者との関わりを通じて、自分の考えを深める</li> <li>生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直す</li> <li>自立的で責任のある行動をする</li> <li>自分の特徴を知って、悪いところを改めてよいところを積極的に伸ばす</li> <li>より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないうつ努力する</li> <li>日常生活や学習に自主的に取り組もうとする態度を高める</li> </ul>
課題対応能力	情報収集・探索	職業に関するさまざまな情報を得る力	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の理解、選択、処理</li> <li>本質の理解</li> <li>原因の追究</li> <li>課題発見</li> <li>計画立案</li> <li>実行力</li> <li>評価、改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>係活動や当番活動がもつ役割、大切さに気付く</li> <li>日頃行っている係活動や当番活動などのよりよい取り組み方について考える</li> <li>身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出す、話す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に情報収集することの大切さを知る</li> <li>情報収集の方法について理解する</li> <li>関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモする</li> <li>計画作りの必要性に気付き、作業の手順が分かる</li> <li>分からないことを辞書や図鑑で調べたり、人に質問したりする</li> </ul>
	計画実行	やれることは自分でやろうとする力 目標とすべき将来の生き方をイメージする力			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の日常生活における問題点を発見する</li> <li>自分の日常生活における問題を見直し、改善する</li> <li>考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関連付ける</li> <li>調べて分かったこと、気付いたことを個人やグループで分かりやすくまとめる</li> <li>話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる</li> <li>身近な産業、職業の様子やその変化が分かる</li> </ul>
キャリアニング能力	役割把握・認識	生活・仕事上の役割を理解し、認識を深める力	<ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶこと、働くことの意義や役割の理解</li> <li>多様性の理解</li> <li>将来設計</li> <li>選択</li> <li>行動と改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んでみんなのために働く</li> <li>働くことの楽しさ、大切さを知る</li> <li>働くことにおいて、さまざまな工夫や努力があることを知る</li> <li>自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む</li> <li>各教科の学習が自分の将来の生き方と関連していることに気付く</li> <li>地域の産業・職業の様子やその変化が分かる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる</li> <li>仕事における役割の関連性や変化に気付く</li> <li>働くことの意義(大切さや苦労)を理解する</li> <li>社会に奉仕する喜びを知って、公共のために役に立つことを理解する</li> <li>さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する</li> <li>各教科の学習が自分の将来の生活や職業と関連していることを理解を深める</li> <li>地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る</li> <li>さまざまな経験をもとに、自分の個性や適性について考えることができる</li> <li>憧れとする職業をもち、それに向けて今しなければならぬことを考える</li> </ul>
	選択	さまざまな選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、決定を行う力			
	職業理解・適性	学校の学びが、職業にどのように関連するのか、そして自分に適しているのかを理解する力			

期 月	前期 (22週)									後期 (23週)																								
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3												
1年 教科・内容・目標	学活「学級組織作り」	福祉実践教室	生活「学校探検」	道徳「もぐれるよ」	体育「リレー」	須西っ子夏祭り	運動会	学活「当番の仕事を考えよう」	須西小フェスティバル	道徳「くつあらい」	生活「みんなみんな大好きだよ」	須西っ子冬祭り	国語「お店さんごっこ」	体育「おにあそび」	音楽「こいぬのマーチ」	6年生を送る会	国語「いいこといっぱい1年生」	係や当番、学級でのルールについて話し合い、みんなのために働くこととする。(1・4)	校内をまわり、異学年の学ぶ姿を見学し、働くことへの関心を高める。(4)	2年生と一緒に仲よく学校探検をする。(1)	努力している友達を認める。(2)	友達の良いところを褒めて、友達の良いところを伝える。(1)	6年生と仲よくお話をまわす。 丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気を付けて話す。(1)	進んで取り組む態度を育てる。(2)	自分の役割に気付く。(3・4)	地域の行事に親しむ。(4)	進んで働くこととする気持ち育てる。(4)	家のみんなが助け合っていることに気付く。(2・4)	通学団の子たちと協力して活動する。(1)	丁寧な言葉遣いで話す。(1)	みんなで仲よく遊ぶ。(1)	楽器の音を聴き合ったり演奏する。(1)	お世話になった上級生に感謝の気持ちをもつ。(1・2)	自分の成長を振り返り、できるようになったことを知る。(2)
	学級委員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合い、みんなのために働くこととする。(1・4)	仲間よくなる。(1) 自分自身の成長を振り返り、できるようになったことを知る。(2)	生活や学習に取り組もうとする態度を育てる。(2)	生活や学習の進んで取り組もうとする態度を育てる。(2)	仲間よくなる。(1) 挨拶言葉遣いに気を付ける。(2)	協力して仕事をすること。(1) みんなのために働く。(4)	健康や安全に気を付ける。(2) 規則正しい生活をする。(2)	友達の作品を鑑賞し、形や色のおもしろさに気付く。互いの発表を集中して聞く。(1・2)	挨拶言葉遣いに気を付ける。(1・2)	日頃行っている活動や当番活動などのよい思い出を振り返り、自分について考える。(3)	挨拶言葉遣いに気を付ける。(2) 働くことへの関心を高める。(1・4)	働くことの喜びや満足感を感じる。(4)	言葉遣いに気を付ける。(2)	働くことへの関心を高める。(2)	身近なことや経験したことから考える。(3)	自分の成長を振り返り、できるようになったことを知る。(2)																		

期 月	前期 (22週)									後期 (23週)																							
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3											
2年 教科・内容・目標	学活「学級組織作り」	福祉実践教室	国語「ともさんはどこかな」	道徳「かくげいかい」	国語「うれしいことば」	須西っ子夏祭り	運動会	図工「ひかりのプレゼント」	須西小フェスティバル	学活「学級組織作り」	生活「レッツゴー町たんけん」	生活「須西っ子郵便局」	須西っ子冬祭り	生活「みのまわりのしごとをさがそう」	算数「何番目」	生活「みんな大きくなったよね」	学級委員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合い、みんなのために働くこととする。(1・4)	仲間よくなる。(1) 自分自身の成長を振り返り、できるようになったことを知る。(2)	生活や学習に取り組もうとする態度を育てる。(2)	はっきりした発音で話す。(1)	生活や学習の進んで取り組もうとする態度を育てる。(2)	仲間よくなる。(1) 挨拶言葉遣いに気を付ける。(2)	協力して仕事をすること。(1) みんなのために働く。(4)	健康や安全に気を付ける。(2) 規則正しい生活をする。(2)	友達の作品を鑑賞し、形や色のおもしろさに気付く。互いの発表を集中して聞く。(1・2)	挨拶言葉遣いに気を付ける。(1・2)	日頃行っている活動や当番活動などのよい思い出を振り返り、自分について考える。(3)	挨拶言葉遣いに気を付ける。(2) 働くことへの関心を高める。(1・4)	働くことの喜びや満足感を感じる。(4)	言葉遣いに気を付ける。(2)	働くことへの関心を高める。(2)	身近なことや経験したことから考える。(3)	自分の成長を振り返り、できるようになったことを知る。(2)
	学級委員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合い、みんなのために働くこととする。(1・4)	仲間よくなる。(1) 自分自身の成長を振り返り、できるようになったことを知る。(2)	生活や学習に取り組もうとする態度を育てる。(2)	はっきりした発音で話す。(1)	生活や学習の進んで取り組もうとする態度を育てる。(2)	仲間よくなる。(1) 挨拶言葉遣いに気を付ける。(2)	協力して仕事をすること。(1) みんなのために働く。(4)	健康や安全に気を付ける。(2) 規則正しい生活をする。(2)	友達の作品を鑑賞し、形や色のおもしろさに気付く。互いの発表を集中して聞く。(1・2)	挨拶言葉遣いに気を付ける。(1・2)	日頃行っている活動や当番活動などのよい思い出を振り返り、自分について考える。(3)	挨拶言葉遣いに気を付ける。(2) 働くことへの関心を高める。(1・4)	働くことの喜びや満足感を感じる。(4)	言葉遣いに気を付ける。(2)	働くことへの関心を高める。(2)	身近なことや経験したことから考える。(3)	自分の成長を振り返り、できるようになったことを知る。(2)																

期 月	前期 (22週)									後期 (23週)																				
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3								
3年 教科・内容・目標	学活「学級組織作り」	総合「蟹江町の今、昔[校区探検隊]	福祉実践教室	総合「蟹江町の今、昔[すし新聞作り]	須西っ子夏祭り	運動会	学活「学級組織作り」	須西小フェスティバル	社会見学(輪中の郷)	社会「畑ではたらく人びとの仕事」	総合「蟹江町の今、昔[昔調査隊]	須西っ子冬祭り	社会「今に残る昔とくらしのうつりかわり」	総合「蟹江町の今、昔[昔まとも隊]	学級委員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合い、みんなのために働くこととする。(1・4)	情報収集の方法について理解する。情報のあることなどから話題を決め、必要な事項について調べ、要点をメモする。計画作りの必要性に気付く。作業の手順が分かる。(3)	車椅子体験を通して、足が不自由な人に関わる理解を深める。(1)	自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。(2)	友達と互いに協力、理解し、助け合う。異年齢の友達と進んで関わろうとする。(1)	自分でできることは自分です。自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。(2)	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る。(4)	地域の産業・職業の様子やその変化が分かる。(4)	働くことへの関心を高め、大切さを伝える。働くことについて、さまざまな工夫や努力があることを知る。(4)	地域の産業・職業の様子やその変化が分かる。(4)	働くことへの関心を高め、大切さを伝える。働くことについて、さまざまな工夫や努力があることを知る。(4)	地域の産業・職業の様子やその変化が分かる。(4)	異年齢の友達と進んで関わろうとする。(1)	分らないことを辞書や図鑑で調べたり、人に質問したりする。(3) 地域の産業・職業の様子やその変化が分かる。(4)	相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話す。話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を述べたりする。(1)
	学級委員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合い、みんなのために働くこととする。(1・4)	情報収集の方法について理解する。情報のあることなどから話題を決め、必要な事項について調べ、要点をメモする。計画作りの必要性に気付く。作業の手順が分かる。(3)	車椅子体験を通して、足が不自由な人に関わる理解を深める。(1)	自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。(2)	友達と互いに協力、理解し、助け合う。異年齢の友達と進んで関わろうとする。(1)	自分でできることは自分です。自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。(2)	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る。(4)	地域の産業・職業の様子やその変化が分かる。(4)	働くことへの関心を高め、大切さを伝える。働くことについて、さまざまな工夫や努力があることを知る。(4)	地域の産業・職業の様子やその変化が分かる。(4)	働くことへの関心を高め、大切さを伝える。働くことについて、さまざまな工夫や努力があることを知る。(4)	地域の産業・職業の様子やその変化が分かる。(4)	働くことへの関心を高め、大切さを伝える。働くことについて、さまざまな工夫や努力があることを知る。(4)	地域の産業・職業の様子やその変化が分かる。(4)	異年齢の友達と進んで関わろうとする。(1)	分らないことを辞書や図鑑で調べたり、人に質問したりする。(3) 地域の産業・職業の様子やその変化が分かる。(4)	相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話す。話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を述べたりする。(1)												

期 月	前期 (22週)									後期 (23週)																				
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3								
4年 教科・内容・目標	学活「学級組織作り」	学活「学級組織作り」	福祉実践教室	総合「人との関わりの中で自分を見つめよう」 いろいろな人や文化に触れよう 興味あることについて詳しく調べよう	社会「命とくらしをささえる水」	須西っ子夏祭り	運動会	学活「学級組織作り」	須西小フェスティバル	道徳「たのまれた仕事」	総合「人との関わりの中で自分を見つめよう」 いろいろな人や文化に触れよう 働く人について調べよう	須西っ子冬祭り	音楽「日本の音楽に親しむ」	国語「ことわざブックを作ろう」	総合「人との関わりの中で自分を見つめよう」 いろいろな人や文化に触れよう 2分の1成人式をしよう	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	役割や意義を考えながら、委員会・クラブの所属を決定する。(4)	盲導犬と触れ合う活動を通して、視覚障がい者に関わる理解を深める。(1)	環境、健康、福祉、地域の文化など、興味あることを調べ自分なりに役立てる。計画的に情報収集することの大切さを知る。関心のあることなどから話題を決め、必要な事項について調べ、要点をメモする。(3)	私たちの生活を支える水を大切にしようとする。(2・3・4)	異年齢の友達と進んで関わろうとする。(1)	みんながひとつになることを意識して、演技をしたり役割の仕事をしたりする。(1・4)	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る。(4)	進んでみんなのために働く。(4)	働く人について調べ、大変さややり甲斐についてインタビューする。自分のおもい、働くことへの関心や努力があることを知る。(4)	リーダーシップを発揮することの大切さを知る。(1)	旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、日本の伝統音楽に親しむ。(1・4)	ことわざや故事成語の意味を知り、使う。(2)	10歳になった自分を見つめる。これまでの自分について、家の人にインタビューする。自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。(4)
	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	役割や意義を考えながら、委員会・クラブの所属を決定する。(4)	盲導犬と触れ合う活動を通して、視覚障がい者に関わる理解を深める。(1)	環境、健康、福祉、地域の文化など、興味あることを調べ自分なりに役立てる。計画的に情報収集することの大切さを知る。関心のあることなどから話題を決め、必要な事項について調べ、要点をメモする。(3)	私たちの生活を支える水を大切にしようとする。(2・3・4)	異年齢の友達と進んで関わろうとする。(1)	みんながひとつになることを意識して、演技をしたり役割の仕事をしたりする。(1・4)	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る。(4)	進んでみんなのために働く。(4)	働く人について調べ、大変さややり甲斐についてインタビューする。自分のおもい、働くことへの関心や努力があることを知る。(4)	リーダーシップを発揮することの大切さを知る。(1)	旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら、日本の伝統音楽に親しむ。(1・4)	ことわざや故事成語の意味を知り、使う。(2)	10歳になった自分を見つめる。これまでの自分について、家の人にインタビューする。自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。(4)															

期 月	前期 (22週)									後期 (23週)																										
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3														
5年 教科・内容・目標	学活「学級組織作り」	学活「学級組織作り」	福祉実践教室	道徳「働くとはどういうこと？」	総合「グループ作り体験」「相模原風見学」	国語「モノ作り体験」	総合「野外活動」	須西っ子夏祭り	運動会	学活「学級組織作り」	須西小フェスティバル	道徳「僕の草取り体験」	社会「情報を伝える セントレア見学」	須西っ子冬祭り	総合「働く人々調べ」	国語「わらべごとの神様」	6年生を送る会	卒業式	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	役割や意義を考えながら、委員会・クラブの所属を決定する。(4)	手話体験を通して、聴覚障がい者に関わる理解を深める。(1)	働くことの意味(大切さや苦しさ)を理解する。(4)	さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	働くことの意味(大切さや苦しさ)を理解する。(4)	さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること。(1)	役割を意識し、協力して進めていく。(4)	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る。(4)	働くことへの楽しさ、大切さを知る。働くことへの喜びや満足感を感じる。(4)	管轄塔で働く人々やテレビ局で働く人々を通して、社会生活には色々な役割があることやその大切さを知る。働くことへの喜びや満足感を感じる。(4)	さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	リーダーシップを発揮することの大切さを知る。(1)	調べた分かったこと、気付いたことを個人やグループで分かちあう。(3・4)	仕事における役割の関連性や変化に気付く。さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	リーダーシップを発揮して、上級生としての自覚をもって活動する。(1)
	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	役割や意義を考えながら、委員会・クラブの所属を決定する。(4)	手話体験を通して、聴覚障がい者に関わる理解を深める。(1)	働くことの意味(大切さや苦しさ)を理解する。(4)	さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	働くことの意味(大切さや苦しさ)を理解する。(4)	さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	働くことの意味(大切さや苦しさ)を理解する。(4)	広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること。(1)	役割を意識し、協力して進めていく。(4)	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る。(4)	働くことへの楽しさ、大切さを知る。働くことへの喜びや満足感を感じる。(4)	管轄塔で働く人々やテレビ局で働く人々を通して、社会生活には色々な役割があることやその大切さを知る。働くことへの喜びや満足感を感じる。(4)	さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	リーダーシップを発揮することの大切さを知る。(1)	調べた分かったこと、気付いたことを個人やグループで分かちあう。(3・4)	仕事における役割の関連性や変化に気付く。さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	リーダーシップを発揮して、上級生としての自覚をもって活動する。(1)																	

期 月	前期 (22週)									後期 (23週)																										
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3														
6年 教科・内容・目標	学活「学級組織作り」	学活「学級組織作り」	福祉実践教室	国語「学級討論会をしよう」	総合「知ろう 考えよう『よのな科』～仕事(人間編)～」	須西っ子夏祭り	運動会	学活「学級組織作り」	須西小フェスティバル	修学旅行	道徳「お話しタイム」	総合「知ろう 考えよう『よのな科』～お金編～」	須西っ子冬祭り	社会「わたしたちの願いと政治のはたらき」	総合「知ろう 考えよう『よのな科』～人生編～」	感謝の集い	卒業式	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	役割や意義を考えながら、委員会・クラブの所属を決定する。(4)	点字体験を通して、視覚障がい者に関わる理解を深める。(1)	目的や意図に応じて、事情が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、相手に伝わりやすい言葉遣いで話す。(3)	社会的意図に応じて、事情が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、相手に伝わりやすい言葉遣いで話す。(3)	社会生活には色々な役割があることやその大切さを知る。働くことの意味(大切さや苦しさ)を理解する。(4)	働くことの意味(大切さや苦しさ)を理解する。(4)	最高学年として、自分ができることを進んで行う。(1・4)	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る。(4)	時と場をわきまをきき、礼儀正しく行動する。法やまじりを守る。(1・2・4)	自由の意味を理解し、他人の迷惑にならないように、勇気ある行動を取ろうとする気持ちをもつ。(2・4)	社会生活には色々な役割があることやその大切さを知る。働くことへの喜びや満足感を感じる。(4)	さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	リーダーシップを発揮し、異学年の友達と楽しく活動する。(1)	社会の仕組みを知る。社会生活には色々な役割があることやその大切さを知る。働くことへの喜びや満足感を感じる。(4)	さまざまな経験をもとに、自分の個性や適性について考えることができる。働くという職業を、それに向けてやろうと努力する。(4)	これまでの感謝の気持ちをしっかりと表す。(2・4)	最後にふさわしい態度で臨む。(2・4)
	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	役割や意義を考えながら、委員会・クラブの所属を決定する。(4)	点字体験を通して、視覚障がい者に関わる理解を深める。(1)	目的や意図に応じて、事情が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、相手に伝わりやすい言葉遣いで話す。(3)	社会的意図に応じて、事情が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、相手に伝わりやすい言葉遣いで話す。(3)	社会生活には色々な役割があることやその大切さを知る。働くことの意味(大切さや苦しさ)を理解する。(4)	働くことの意味(大切さや苦しさ)を理解する。(4)	最高学年として、自分ができることを進んで行う。(1・4)	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る。(4)	時と場をわきまをきき、礼儀正しく行動する。法やまじりを守る。(1・2・4)	自由の意味を理解し、他人の迷惑にならないように、勇気ある行動を取ろうとする気持ちをもつ。(2・4)	社会生活には色々な役割があることやその大切さを知る。働くことへの喜びや満足感を感じる。(4)	さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	リーダーシップを発揮し、異学年の友達と楽しく活動する。(1)	社会の仕組みを知る。社会生活には色々な役割があることやその大切さを知る。働くことへの喜びや満足感を感じる。(4)	さまざまな経験をもとに、自分の個性や適性について考えることができる。働くという職業を、それに向けてやろうと努力する。(4)	これまでの感謝の気持ちをしっかりと表す。(2・4)	最後にふさわしい態度で臨む。(2・4)																	

期 月	前期 (22週)						後期 (23週)											
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3							
総合的な学習の時間 内容・目標	『よのな科 ー仕事(人間)編ー』[全29時間] ・さまざまな職業の方をお招きして、話を聞こう、体験しよう(ケーキ屋さん、A酒造さん、船作りBさん) ・「1個のハンバーガーから世界が見える」(ハンバーガー屋さんの出前授業) ・「須西っ子夏祭り」を企画しよう、成功させるには？ ・与えられた役を真剣に演じよう(学習発表会)						『よのな科 ーお金編ー』[全24時間] ・修学旅行、計画的に進めよう！協力しよう！ ・お金じゃ買えない！？日本の遺産・職人の技術 ・お小遣い帳から、正しいお金の使い方について考えよう。 ・税金って何だろう？(租税教室) ・修学旅行報告会をしよう						『よのな科 ー人生編ー』[全17時間] ・数年後の自分、数年後の社会を考えてみよう ・人生カレンダーを作ろう ・フリーターやニートについて(お金と人生と自分の関係) ・人生に平等に訪れるもの…それは死(Death education) ・期待？不安？中学校生活 卒業に向けて					
	・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・仕事における役割の関連性や変化に気付く。 ・働くことの意義(大切さや苦労)を理解する。 ・さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)						・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・仕事における役割の関連性や変化に気付く。 ・さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。 ・調べて分かったこと、気付いたことを個人やグループで分かりやすくまとめる。 ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。(1・3・4)						・さまざまな経験をもとに、自分の個性や適性について考えることができる。 ・憧れとする職業を持ち、それに向けて今しなければならないことを考える。 ・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・各教科の学習が自分の将来の生活や職業と関連していることの理解を深める。 ・より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。(2・4)					

道徳 内容・目標	☆「流行 おくれ」(節度・節制)	☆「なにもかになる」(向上心・個性の尊重)	☆「ごめんなさい」(礼儀)	☆「勝手に なりたい」(不とう不屈)	☆「お話しタイム」(自由・規律)	☆「選りた 学級文庫」(公徳心・権利)	☆「遊び場 づくり」(勤労)	☆「夢を 求めて」(向上心)	☆「合唱コンクール」(社会的役割)	☆「ぼくは 後悔しない」(公正・公平)
	常に自分の生活を振り返り、言動を反省し、節度ある態度で生活しようとする意欲を高める。(2)	自分の個性や長所を知るとともに、これを生かし、伸ばそうとする気持ちを高める。(2)	感謝や謝罪の言葉は、互いの気持ちを穏やかにすることを理解し、心を込めて言おうとする気持ちを高める。(2)	自分の立てた目標を達成するために、困難にくじけず、最後まで粘り強くやり遂げようとする意欲を高める。(2)	自由の意味を理解し、他人の迷惑にならないよう規律ある行動をとろうとする気持ちを高める。(1・2)	権利の主張は義務を伴うことを理解させ、責任ある行動をしようとする気持ちを高める。(2)	働くことの意義を理解し、みんなのためになる仕事を進んでしようとする意欲を高める。(4)	自分の特徴を知り、長所を伸ばそうとする気持ちを高める。(2)	他人の言動に動かされず、自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする気持ちを高める。(2)	自分の好き嫌いや利害にとらわれずに公正に判断し、正しいと思うことを積極的に行おうとする気持ちを高める。(2)

☆…道徳「明るい心」より抜粋

国語 内容・目標	学級討論会をしよう(話す・聞く)	ようこそ、わたしたちの町へ(書く)	「平和」について考える意見文・スピーチ(書く)	自分を 見つめ直して(書く)	今、わたしは、(ぼくは) (話す・聞く)
	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。(1)	考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関連付ける。調べて分かったこと、気付いたことを個人やグループで分かりやすくまとめる。(3)	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。(1)	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら書く。(1)

社会 内容・目標	平和で豊かな国をめざして	わたしたちの願いと政治のはたらき	わたしたちのくらしと憲法	日本とつながりの深い国々	国際連合と日本人の役割
	・社会の仕組みを知る。 ・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・公共のために役に立つことを理解する。(2・4)				

外国語活動 内容・目標	Lesson1 言語・文字 Do you have 'a'?	Lesson2 行事・月・日付 When is your birthday?	Lesson3 スポーツ・動作 I can swim.	Lesson4 建物案内 Turn right.	Lesson5 世界の国々・生活 Let's go to Italy.	Lesson6 世界の国々・生活 What time do you get up?	Lesson7 世界の童話・日本の童話 We are good friends.	Lesson8 職業・将来の夢 What do you want to be?
	外国語活動を通じて、コミュニケーションを図ることの楽しさや大切さ、さらには多様な物の見方や考え方があることに気付く。(1)							

特別活動 内容・目標	学級組織づくり	学校組織づくり	交通安全教室	福祉実践教室	芸術鑑賞会	須西っ子夏祭り	運動会	学級組織づくり	須西小フェスティバル	修学旅行	租税教室	須西っ子冬祭り	感謝の集い	6年生を送る会	卒業式
	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(1・4)	役割や意義を考えながら、委員会・クラブの所属を決定する。(4)	法や決まりを守ることを大切にし、ルールを知り、行動する。(2)	点字体験を通して、視覚障害者に関わる理解を深める。(1)	さまざまな仕事に、それぞれのやりがいがあることを理解する。(4)	広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。(1) 働くことの意義(大切さや苦労)を理解する。(4)	最高学年として、自分のできることを進んで行う。人の役に立つ積極的な行動を心がける。(1)	学級委員・代議員の選出、係や当番、学級でのルールについて話し合う。(4)	地域の伝統・文化にはどのようなものがあるか知る。(4)	互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。(1) 仕事における役割の関連性や変化に気付く。(4)	社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。(4)	リーダーシップを発揮し、異学年の友達と楽しく活動する。(1)	これまでの感謝の気持ちを表す。より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。(2・4)		